

# 長岡京市デジタルプロモーション事業について

第37回大会は、来場者の入場制限をもとに、チーム構成や試合形式の縮小、開会式の中止など大会運営の見直しを図るなかで、子どもたちの夏の思い出となる記憶に残るイベントとして、「若葉カップ」の魅力や意義を伝える良い機会と捉え、認知度向上を図るとともに、未来のオリンピック選手を目指す子どもたちにエールを送ることを目的に実施します。

## ライブ配信

若葉カップ史上初！大会最終（準々決勝から決勝）の試合の様子を生中継します。※4台のカメラで撮影予定

## PR動画の配信

今年で37回目を迎える若葉カップ。若葉カップの魅力や歴史など全てが詰まった動画などを順次SNSにて配信していきます。

## フォトライブラリー

プロのカメラマンが試合や応援の風景を撮影した写真を特設サイトにアップします。※出場チームを対象に大会終了後に掲載予定

この事業は、株式会社村田製作所の特別追加協賛により、長岡京市が実施いたします。

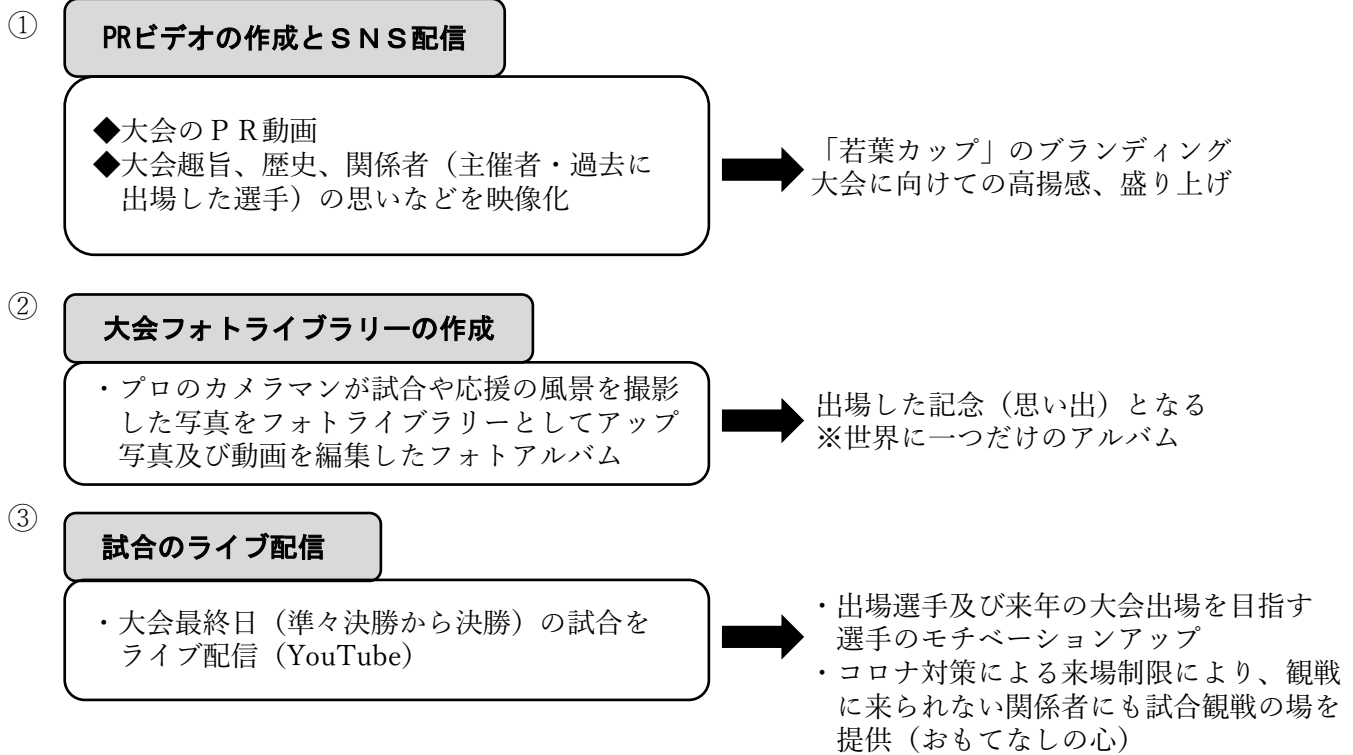
# 第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会 デジタルプロモーション事業の企画について

令和3年6月28日現在

## ■目的

第37回大会は、来場者の入場制限をもとに、チーム構成や試合形式の縮小、開会式の中止など大会運営の見直しを図るなかで、子どもたちの夏の思い出となる記憶に残るイベントとして、「若葉カップ」の魅力や意義を伝える良い機会と捉え、認知度向上を図るとともに、未来のオリンピック選手を目指す子どもたちにエールを送ることを目的とする。

## ■企画概要と効果



## ■企画詳細イメージ

- ① PRビデオの作成とSNS配信
  - ◆若葉カップの大会PR、60秒から90秒の動画で若葉の全てを凝縮
  - ◆若葉カップの趣旨・歴史や関係者（主催者・過去に出場した選手）のコメントを交えながら、若葉の全てを知ることができる
- ② 大会フォトライブラリーの作成  
撮影した写真を特設サイト上に公開し、希望の写真をダウンロード可能とする。
- ③ 試合のライブ配信  
固定カメラで試合会場を撮影し、リアルタイムYouTubeで外部配信。視聴者は、コートを選んで希望の試合を観ることができる。